

表紙

日載 十二

明治三庚午年四月二十六日ヨリ
同六年第四月十五日ニ至ル

12-2

四月(明治三年)

二十六日戌 晴

叔母より我(☺)へ小杉紙、常司(*○)より引物山葵糕(*1)二十口を賀贈せらる、叔母東京土産とし

有平(*2)糠贈らる、

二十七日亥 薄陰

横地六訪口として鯛一尾遣す(つかわす)、引続き尋問(☺)す、吉右衛門並口奴方より蔬菜(*☺)類差越す

二十八日子 雨午前止漸薄晴

山中仁儀(☺)牧田使命を受、結納品目録並肴料持来、酒飯を設け隠居久常(*○)司

八蔵□す、猶此方結納品目録を為持(もたせ)申含め遣す、当代十円、寿留女昆布代二円、肴料一円、○此方ハ肴代無し

*○:人名(常司)、親族のだれか?

*1:糕、ことう、糯・餅、わさび餅?

*2:有平か有本か?

*3:蔬菜(そな)、野菜

読み方を(注)でいれるか?

□印は現在、解説未了の文字です。悲しいかな、私の実力ではすぐ解説はできません。